

## ◆ 2022 年度 活動 報告 シ ー ト ◆

団体名：荒川太郎右衛門地区自然再生協議会

25A-39

代表者：会長 川島 秀男

URL : <http://taroemon2021.html.xdomain.jp/index.html>

### 1. 活動が必要とされた状況

太郎右衛門自然再生地は、都市部近郊で豊かな自然環境が残されており、地域固有の生物多様性の確保や自然と共生する社会の実現への貢献が期待される地域である。この自然再生地を目標とする姿に近づけていくよう保全・活用を進めていく上で、自然再生地の認知拡大や担い手の確保が重要な課題となっている。

課題解決のため「中池誘致リーフレット」、「ボランティア募集リーフレット」、「広報用パネル」の制作を行った。リーフレット制作は東京デザイン専門学校と本協議会の連携講義として取り組んだものである。連携講義は2019年に開始し、今年度で4回目となる。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

(1) リーフレット制作（講義期間：6月～12月、ビジュアルデザイン科3年43名）

〈活動内容〉連携講義は、①中池誘致リーフレット ②ボランティア募集リーフレット、どちらかを選択し、企画編集はグループワーク、デザイン制作は個人ワークで取り組んだ。バラエティに富んだ作品の中から、優れた作品を採用して印刷を行った。

(2) 広報用パネル制作

〈活動内容〉自然再生地の認知拡大に向けて、かわじまはるかぜウォーク（4/29）、おけがわ春のふれあいフェスタ（5/8）、上尾市環境推進大会パネル展（6/25）に出展、秋イベント（11/19）を主催開催した。今後、こうした活動時に参加者へ自然再生地の生き物などをビジュアルで紹介できるパネルを制作した。

### 3. 活動の成果

(1) リーフレット制作

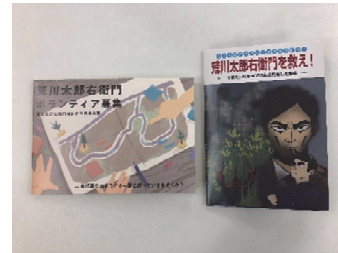
採用作品3作品について、助成金を活用して各3,000部を印刷した。講義の成果が実際にモノとなり、活用されていくことについて、学生や学校側からとても好評を得た。



表彰式後の集合写真



中池誘致リーフレット



ボランティア募集リーフレット

(2) 広報用パネル制作、パネル収納ケース・イーゼルの購入

広報用パネル（A1サイズ、7種類）と、これを持ち運ぶための収納ケース、パネル展示に使用するイーゼルの購入に助成金を活用した。

### 4. 今後に残された課題

リーフレットは、イベントやボランティア活動時に配布する、近隣商業施設等に配置するなど、自然再生地の認知拡大や維持管理活動の担い手確保につなげる。また、広報用パネルは、自然再生地を知り、足を運んでもらえるよう、イベント等で活用していく。